

2016 年度点検・評価シート

I 評価項目・担当部局

対象部局	文学部
評価基準 4	教育内容・方法・成果
中項目 4-4	成果 【自己評定 A】
点検・評価項目(1)	4-4-1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
評価の視点	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用
点検・評価項目(2)	4-4-2 学位授与（卒業・修了認定）は適切に行われているか。
評価の視点	学位授与基準、学位授与手続きの適切性

II 【点検・評価項目ごとの現状説明】

4-4-1	<p>文学部として学生の学習成果を測定するための評価指標は設定していない。2 年次から 3 年次への進級にあたって、教育学科を除く 4 学科は、卒業要件単位 124 単位のうち、日本文学科が 40 単位以上、中国学科・英米文学科・書道学科が 44 単位以上修得していることを進級要件としている(A4-4-1 第 23 条の 6 第 4 項)。</p> <p>2015 年度の学生による授業評価アンケートにおいて、「Q17.この授業をととして、自分にとって新しい考え方や発想が身につきましたか。」「Q18.この授業で扱われた分野への関心が高まりましたか。」「Q19.この授業をととして、自分で調べ、考える姿勢が身につきましたか。」「Q20.この授業を総合的にみて、満足できましたか。」の 4 つの設問で、「非常にそう思う」「そう思う」の肯定的な自己評価をしたのは、全学年平均で、Q17.が 67.1%(64.9%)、Q18.が 69.1%(67.6%)、Q19.が 60.3%(57.5%)、Q20.が 69.7%(68.4%)である (B4-4-1、B4-4-29 d2-表 25～表 28)。()内の数字、2014 年度と比較すると全てにおいて評価が若干向上している。</p> <p>2015 年度の卒業生アンケートでは、「Q2.所属学部・学科についての専門的知識が身に付いたと思いますか?」「Q4.大学 4 年間で自分の目標を達成できましたか?」「Q5.社会を生き抜く力(マナー、自己管理能力、コミュニケーション能力、問題解決力など)が身に付いたと思いますか?」について、文学部平均で、「そう思う(肯定)」「少し思う(弱肯定)」が、Q2.は 90.6%(93.3%)、Q4.は 75.4%(80.3%)、Q5.は 82.8%(85.2%)である (B4-4-2、B4-4-29 d2-表 29～表 31)。()内の数字、2014 年度と比較すると全てにおいて評価が若干下がっている。</p> <p>2015 年度の 2 年から 3 年へ進級率は 89.6%、卒業率は 91.2%、卒業者の就職決定率は 87.0%(就職希望者に対する就職者の比率)、卒業生に対する就職者比率は 72.1%である (B4-4-29 d2-表 11、表 13、表 14)。</p>
4-4-2	<p>学則(卒業要件)の定めにより、日本文学科・中国学科・英米文学科・教育学科・書道学科の 5 学科とも、4 年間の修業年限を満たし、所定の 124 単位を修得した者に卒業が認定される。卒業要件は『文学部履修の手引』に明示しているほか、毎年度当初の履修ガイダンスに持参させて説明し周知に努めている(A4-4-3 p.10、B4-4-27)。学位の授与は、学部教授会において、成績・判定資料に基づき厳格に決定しており、適切に行われている。</p>

【効果が上がっている事項】

4-4-1	
4-4-2	

【改善すべき事項】

4-4-1	学習成果を測定するための評価指標を設定する。各学科において学習成果の可視化の検討を開始する。
4-4-2	

本項目の根拠資料(データ類、裏付けとなる資料)

A4-4-1	大東文化大学学則 《既出》A1-1
A4-4-3	文学部 履修の手引き 平成 28 (2016) 年度入学生用 《既出》A1-9
B4-4-1	学生による授業評価アンケートと大学教育 2014 年度 《既出》B3-12
B4-4-2	FD 報告書 卒業生アンケート 2014 年度 《既出》B4-3-27
B4-4-27	2015 年度ガイダンス日程表(学部・研究所)
B4-4-29	大学データ集 《既出》B1-22
【追加資料】	

III 【達成目標】 目標の進捗状況は、「S:完全に達成」「A:概ね達成」「B:やや不十分」「C:不十分」で、評価する。

達成目標		目標達成の指標となるもの	評価				
			2014	2015	2016	2017	2018
中期目標 (2014～	4-4-1 学習成果の可視化の検討を開始する。	各学科、文学部教務委員会で議論する。			A		

学部

2018)		
14年度 目標		
15年度 目標		
16年度 目標	4-4-1 学習成果の可視化の検討を開始する。	各学科、文学部教務委員会で議論する。

→				
→				
		A		